



## 佐藤 博俊

社団法人東北経済連合会 副会長

## 東日本大震災の教訓を生かそう

## —東北からのメッセージ—

東日本大震災より1年半が経過しました。

長い時間の巨大地震・その後の大津波によりふる里が一瞬にして瓦礫の山となった現実を決して忘れることはできません。

そのような中であっても、東北人の辛抱強さや秩序ある冷静な行動が世界から絶賛されたところであります。

震災直後は、インフラ・情報網・物流が遮断されました。

この震災での自衛隊・消防・警察・国土交通省を始め被災県等行政機関のご活躍は既にご周知と存じます。

仙台空港では、在日米軍と自衛隊連携による「トモダチ作戦」により、メイン滑走路の瓦礫をわずか2日間で撤去しました。そして、国土交通省東北地方整備局の徳山局長陣頭指揮による「くしの歯作戦」では、震災当日に東北道、国道4号の縦軸ラインを確保し、翌12日には11ルート of 東西ルートを確認、わずか1週間で97%について啓開作業を終了しました。

「くしの歯」のように緊急輸送道路のルートを確認することにより、驚異的かつ迅速な緊急応急復旧活動が行われ、日本海側からの食糧・燃料・支援物資等が円滑に行われました。この活動の最前線には、地域に精通する地元建設企業が自らも被災者でありながら道路啓開・不明者捜索などに尽力したところであります。啓開作業は、想像を絶するもので作業に携わった方の精神的負担ははかり知ることができません。地元建設業が地域の生命と財産を守るという使命感が異常事態においても奮い立たせるものがあつたと思います。地域建設業は、災害対応の最前線におり危機管理産業であり、地域のまち医者的存在であることがご理解いただけると存じます。

震災後も日本各地で自然が驚異の牙をむき、脆弱な国土であることを私たちに知らしめております。歴史的に見ても全国で災害が起こる可能性が非常に高くなっております。

今こそ、強靱な国土づくり・防災・減災対策が不可欠です。

我々地域建設業は、地域に精通した技術集団として心をひとつにし、東北の復興のためにまい進して参ります。

がんばろう！東北 がんばろう！日本

(東北建設業協会連合会 会長・さとう ひろとし)